

令和4年度

学生によるオレンジリボン運動

星槎道都大学 実施報告書



実施主体 社会福祉学部社会福祉学科

実施内容 令和4年9月20日(木)～11月30日(水)

①事前に取り組んだ内容

星槎道都大学の保育士・社会福祉士・精神保健福祉士・教員を目指す学生に、「オレンジリボン運動の意義」について講義を行い、その後、学生自身で「児童虐待について」、「児童虐待の統計」、「学生によるオレンジリボン運動」などについて、自分達で調べて学びを深めた。

②実施期間に取り組んだ具体的内容

9月20日・21日・23日で調べた内容を掲示物にまとめ、またマスコットをつけたオレンジリボンの掲示物を作成。その後、学内に掲示し、多くの学生やオープンキャンパスに参加した高校生に見ていただいた。11月18日には北広島市と本学の連携講座が北広島市芸術文化ホールで開催され、掲示物を持参し、多くの市民に披露した。イベント後は、イベント前同様に、学内に掲示し、また適宜 SNS でも発信し、広く社会に周知をはかる活動も実施した。

③オレンジリボン運動を終えて…

将来、保育士や社会福祉士や精神保健福祉士などのソーシャルワーカー、教員として子どもと関わり、また将来、親としても子どもと関わるかもしれない大学生。福祉の支援は、目の前の子どもや親のみならず(ミクロ)、地域(メゾ)や制度(マクロ)への働きかけも大切である。この度の学びは学生個人へのところへの働きかけになったのと、専門職になった際の、地域や制度に働きかけるソーシャルアクションのスキル向上に役立つことになると思われる。

